

④ルールの説明

11 クロスロードゲームを実際にやってみよう

【クロスロードとコメントの内容】

1問：あなたは・・・おじいちゃん

子供夫婦がようやく手に入れた新築マンション。何度もショールームに通って吟味したインテリアに大満足している。しかし、大地震が来たら家具は倒れそう。格好は悪くなるが、孫のためにも耐震金具をつけるように忠告する？



参加者の皆様

- ※コメント：・家具の倒れる方向を考え、住まい方を考える（ピアノなどの前に寝ないなど）
- ・家具の固定はしっかりとした梁などへ
- ・E-デフェンスでの木造家屋の倒壊のビデオ紹介から耐震診断の大切さを実感

2問：あなたは・・・主婦

防災のため、風呂の残り湯を浴槽にためておくと言われる。しかし、浴槽がかびるかも知れないし、湯あかがつくと掃除が面倒。それに滅多に災害など来ない。それでも残り湯をためておく？

- ※コメント：・習慣にしていたので断水期間は役立った
- ・初期消火にも使える
- ・エコにも繋がる
- ・車での出勤や安否確認で車を使うことは、渋滞原因となり、救急車両や支援物資運搬に支障をきたす。また消火用ホースを踏みつけ火災活動に支障をきたすので使用は避けるべき。

3問：あなたは・・・母親

大地震後、小学校へ行っているわが子を迎えに行くが、途中で人が生き埋めになっているのを発見。しかしわが子も気になる。まず、目の前の人を助ける？

- ※コメント：・約 35,000 人の倒壊家屋の下敷きになった人の 8 割以上は近所の人に助けられた。
- ・警察や消防、自衛隊は人員も少なく限界がある。
- ・クラッシュ症候群を避けるためにも早く救出を。
- ・医者無しで救出は危険説を唱える人もいるが、それまで生き埋めにしておくのが良いのか。
- ・学校は子供の安全避難の訓練を



問題を読む濱講師

4問：あなたは・・・市民

頻発する地震が心配になって地震保険（保険金1千万円）に入ろうと調べてみた。火災保険に加えてさらに年間35,000円を払わなければならない。

それでも地震保険に入る？

- ※コメント：・兵庫県のフェニックス保険制度の紹介
・全国的な共助が無ければ加入性の保険制度には限界がある

5問：あなたは・・・被災者

地震で自宅は半壊状態、家族は揃って避難所へ。ただ日頃の備えをしていたので、非常持ち出し袋には水も食料も3日分ある。一方避難所には水も食料も持たない家族が多数。

その前で非常持ち出し袋をあける？

- ※コメント：・行政が発信している非常用品をすべて整えなければならないと思うと気が重くなる。
・最小限は何かを自分で考えて。
（私は懐中電灯、スリッパ、携帯ラジオなど最小限水や冷凍餅などは冷蔵庫にあるはず）
・より大切なことは家の耐震化であり、家が倒れなければ地震の揺れが収まってから取り入れる。
・物事の優劣を間違わないことも大切



熱心にコメントを聞く参加者



イエスカノーかに悩む参加者



地震による揺れ方の違いを説明する片瀬講師

12 成績発表と賞品の授与

13 閉会挨拶要旨（奈良市消防局中央消防署長 山下光和）

- ・ 八月に実施された「避難所生活体験訓練」での教訓を生かした訓練であったことから、本来の訓練とは趣向を凝らした、形を変えての訓練を実施して頂きました。

- ・ 訓練中、初めての試みであった暗中模索「煙道くぐり」や起振車による揺れの体験を

して貰ったが煙中や震度の強さの体験に加え、煙中ではどのような態勢で、何に注意をして避難しないといけないのか？震度の体験では、単に揺れの強さを実感するだけでなく強い揺れの中で自分はどれだけの行動がとれるのか、どの程度危害防止に努められるのかを考えながら訓練に参加してもらった方が意義がある。

- ・ 「クロスロード」ゲームでは、解答のない状況の中で頭をひねりながら究極の決断、判断を余儀なくされ、いろんな岐路にぶつかり相互においてそれぞれの意見交換ができ、災害が「他人事」ではなく「我が事」として考えていただけたのであれば今回の訓練では素晴らしい経験をして貰ったことだと思います。

- ・ この訓練を通じ、もしもの時に備えてほしい。

- ・ 日頃からの消防行政に対する感謝とお礼並びに皆さんの安心安全を確保していくための協力とお願いを申し上げます。



閉会挨拶をする山下署長

14 感想

【主催者の感想】

- ・ 多くの参加者は、参加してみてゲームを使った訓練の有用性を感じたでしょう。
- ・ 自主的な参加者がいないと言うことは、防災意識がまだまだなことの証。決して防災意識が高いとは言えない。
- ・ 参加者は、真剣に取り組み、意見を述べ、臆すことなくゲームを盛り上げてくれたことは、成功であったと評価したい。設問が、阪神・淡路大震災においていろいろな場面において困ったことの実際に即しているものだからでしょう。ゲームの提供者に感謝！
- ・ 各テーブルの指導員の方の理解とリーダーシップが成功への重要な役割を果たしてくれた。前もっての指導員研修が非常に有効だった。
- ・ 設問が終わるごとにスクリーンで示しコメントを頂く防災関連のデータや事例は、全員に極めて有効な講義であったように感じました。

【NPOとしての感想（伊藤）】

- ・ 事前に大宮地区防災防犯協議会の役員の皆様とNPO（伊藤）と下打ち合わせをした。また、クロスロードゲームについて、役員の方で事前に研修をされた。そして、その役員が各テーブルにつき指導された。このように周到な準備をされたことが今回大人数の参加者にもかわらぬスムーズにゲームが進行できた要因だと思われる。
- ・ 参加者の会話や行動を見て、通常の防災訓練や防災講演と違い、「キャーキャー」言ったり、他の人の意見に考え込んだりして楽しく、和気藹々としていた。

「防災訓練も面白いなー」、「次も参加しようか」と感じていただけたのではないだろうか。

- ・防災訓練後の役員反省会の議事録を読ませていただき、防災訓練が盛況であったと思われたにも拘わらず非常に厳しい反省の項目が見られた。

真剣に防災防犯に取り組み、より充実した組織に発展させ、いざ発災の時には万全を期したいという熱い想いの表れが感じられた。

- ・今回の「クロスロードゲーム」実施が、防災意識高揚・啓発にいくらかお役に立てたのではないかと喜んでいるとともに、益々この大宮地区防災防犯協議会が発展・活性化し、他の自主防災会の模範となることを願いたい。

- 15 ふりかえりシート（別紙1 ふりかえりシートまとめ 別紙2 クロスロード回答集計（班別））
研修終了後、以下の項目について記述いただいた。

私が今日のクロスロードで・・・

- 1) 気づいたのは
- 2) 面白かったのは
- 3) 残念に思ったのは
- 4) 驚いたのは
- 5) 自分に足りないと思ったのは
- 6) 学んだものは
- 7) その他に、考えたこと、書いておきたいことは

【別紙 1】

【ふりかえりシート まとめ】

平成24年10月13日実施
大宮地区防災防犯協議会

1. 気づいたのは……
 - 設問に対しての解答には、年代別・男女別・家族構成・家庭環境など条件が異なり、色々の考え方がある。
 - 他人の異なる意見を聞き、非常に参考になり、考え方が変わることもある。
 - 意外に参加者が多かったが、若者が少なかった。一層の集結を望む。
 - 起震車、煙くぐりなどの体験により、地震の怖さを再認識できた。
 - 今回参加することにより、知らない人とも話し合いが出来、色々勉強になった。（絆）
 - 防災訓練を再認識し、常日頃関心を持たねばいけないと感じた。
 - いざ災害が発生した時、何が出来るか、防災訓練の参加により学習ができた。
 - 物の備えだけでなく、日頃よりその気持ちの準備が必要と感じた。
2. 面白かったのは……
 - みな意見がまちまちであるが、参考になる。
 - クロスロードはゲーム性があり、皆さんのいろんな意見を聞き、同じテーブルでゲームを楽しめた。自分の気持ちを出せた。
 - 震度6、震度5と体験し、その違いも感じ、本当に起きた時はあせると感じた。
 - 起震車や煙の通り抜けなど体験し、面白かった。
 - 色んな人の考えを聞くことが出来、クイズ方式で関心を持たせてくれた。

- 一つの文章でも人それぞれとらえ方が違い、色んな意見が出たので面白かった。
3. 残念に思ったのは……
- 間の説明が少し長いように思う。テンポよく進めると印象に残りやすい。
 - 話が長い。時間が少ない。もう少し時間があれば、もっと学べたと思う。
 - 行政が当てにならないこと。
 - アメを一つももらえなかったこと。
 - ゲームに全員参加できなかったのは意味がないのでは？
4. 驚いたのは……
- クロスロードゲームの準備が行き届いていた（資材、スタッフ）
 - 震度6などの地震の体験や煙のトンネルの体験に驚いた。
 - 参加者が少ない。
 - クロスロードゲームではいろんな考えがあり、皆様の考えに感動した。自分の意見が変わる。
 - この方法はとても良かった。こんな方法があるなんて！！
 - 皆さんが災害のことについて真剣に考えておられること。
 - 目の前の人を助けるか否かだけでなく、広い意味で救助の邪魔にならないなど考えるべき、というのは勉強になった。
5. 自分に足りないと思ったのは……
- もう少し防災のことを身近に感じるようにしたい。
 - 自己中心主義で回りのことを見ていない、ダメ。
 - 防災意識を持ち、危機感を持って自主的に参加することが大事。
 - 日頃の備えとして、非常持ち出しの見直しや心の準備（対策）
 - ハードの備えも必要だが、クロスロードのような精神面の訓練も必要。
 - まだまだ災害に対する備えが足らなく、とっさの判断が出来ないかも？
 - 一つの見方に偏っていないか、もっと考えなくてはと反省。
6. 学んだものは……
- 防災を軽く見ていた自分が恥ずかしく思った。
 - 地域での交流の場に参加し、色々知り体験した方が良い。
 - 起震車や煙トンネルを体験し、参加して新しい目覚めとなった。
 - 防災意識の重要性を再確認し、想定外のことが大いに起きること。起震車や煙トンネル等の体験は後々に生きてくる。
 - 防災訓練を重ねるごとに、少しずつ気づくことが多い。
7. その他に考えたこと、書いておきたいことは……
- 他人の意見を聞くことはよい事である。今後はクロスロードを参考にしたい。
 - 考えていたことはまだまだ甘い、と思った。
 - 来年も元気に参加したいと思った。
 - 近所の人と知り合いになること、良かった。
 - このように学習できたこと、参加できたこと。自分の為に、市民の為に、実のある訓練でした。
 - 今日不参加の人を一人でも多く参加できる環境づくり……大事。
 - 今後も続けていくことが必要と思うし、参加していきたい。
 - 身近なところでの防災……避難所、避難経路などきちんと。

- 問題をもう少し具体的に書いて欲しい。
- 専門的なことを説明して欲しい。
- 設問について「市民編 5013」一考を。わが子を迎えに行く途中生き埋めの人を助けるか……だが、この生き埋めの人知っている人か知らない人か、で行動は変わる。日常、近所の人など多くの人と会っておくべきである。“絆”。いざの時“生死を分ける”。

【別紙 2】

「クロスロード」集計表

設問	1. 市民編 5003		2. 市民編 5002		3. 市民編 5013		4. 市民編 5004		5. 市民編 5014	
	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N	Y	N
1 班(9名)	8	1	5	4	7	2	5	4	7	2
2 班(9名)	9	0	8	1	3	6	4	5	6	3
3 班(7名)	6	1	6	1	5	2	5	2	5	2
4 班(7名)	5	2	6	1	7	0	2	5	4	3
5 班(9名)	8	1	8	1	4	5	4	5	5	4
6 班(13名)	11	2	9	4	7	6	3	10	11	2
7 班(10名)	7	3	7	3	5	5	5	5	6	4
8 班(7名)	5	2	4	3	3	4	6	1	5	2
9 班(10名)	8	2	2	8	5	5	1	9	8	2
10 班(7名)	7	0	5	2	3	4	4	3	5	2
計 (88名)	74	14	60	28	49	39	39	49	62	26
(平均)	7.4	1.4	6	2.8	4.9	3.9	3.9	4.9	6.2	2.6
(Y/N 比率)	84%	16%	68%	32%	56%	44%	44%	56%	70%	30%